

第 2 回
千代田区公園・児童遊園等整備方針検討会

整備方針改定について

－現状分析と改定の視点－

目次

1. 検討スケジュール	2
2. 前回検討会の主な意見	3
3. 整備方針の骨子（案）	7
4. 本日の報告事項・協議事項	8
5. 【現状分析】千代田区の地域特性	9
6. 千代田区の現状分析結果	8
7. 排他的アクティビティ／共存アクティビティ	19
8. 各種調査結果クロス集計	20
9. 千代田区公園・児童遊園等整備方針の改定に向けて	39

1. 検討スケジュール

【スケジュール（案）】

	開催時期	検討内容
第1回	令和5年7月27日	<ul style="list-style-type: none">・ 整備方針改定に向けた概要・ 千代田区の概要・ 令和4年度の利用実態調査等について
第2回	令和5年10月31日	<ul style="list-style-type: none">・ 第1回検討会を踏まえた検討 諸調査単純・クロス集計について・ 改定骨子案1
第3回	令和6年1月16日	<ul style="list-style-type: none">・ 第2回検討会を踏まえた検討・ 改定骨子案2
第4回	令和6年2月～3月	<ul style="list-style-type: none">・ 第3回検討会を踏まえた検討・ 改定骨子案3・ 整備方針素案の検討
第5回	令和6年5月～6月	<ul style="list-style-type: none">・ 第4回検討会及びパブコメを踏まえた検討・ 整備方針素案の策定
第6回	令和6年7月～8月	<ul style="list-style-type: none">・ 第5回検討会を踏まえた検討・ 整備方針の改定

2. 前回検討会の主な意見と本日の報告事項

①公園利用の多様性と潜在ニーズ(1)

- ・ **利用者の属性により使い方が異なる。**
- ・ 子どもや高齢者、**エッセンシャルなニーズを持つ人々**にとって公園は重要な場所であることを意識し、利活用の**特徴づけが重要。**
- ・ **それぞれの役割を持たせて特色ある整備**を行うことは非常に重要な視点である。
- ・ **地域の潜在的な利用者**を想像した上で**地域の特性と公園のあり方の関係**を整理し、計画に反映することが重要である。

本日報告

アンケート調査・ヒアリング調査・街頭インタビュー調査報告

利用者ニーズを把握

居住者情報とGIS活用資料

地域特性について

②公園整備の考え方について

- ・ **みんなのためと考えることは逆に、誰のものでもないものを生んでいる**という構造がある。
- ・ **大人のための良い風景、空間は千代田区には一定程度存在するため、まずは子どもや高齢者やより弱い人たちにとっての優先席的な公園整備を進めるべきで、具体的にどういう機能・クオリティを持つべきなのか**

2. 前回検討会の主な意見

②運営・維持管理の課題、地域との情報共有、コミュニティの形成

- ・空間設計だけでは、年齢など異なる利用者との空間共有は困難。
ソフト（運営方法）の取り入れ方を今後考えていかななくてはならない。
- マネジメントの主体や仕組みを地域へどう共有するか検討する必要がある。
- ・年齢の低い子どもたちを優先させるときに運営の力が必要になってくる。
- ・公園は個別に管理され作られていることが課題であり、子どもたちの需要に応えるためにもコミュニティの視点で議論する必要がある。
- ・空間の多様性、機能への対応性、運営管理、利用主体のパターンを整理しながら議論をまとめたらよい。
- ・公園それぞれの使い方や設計の意図を利用者に共有しておくことが重要である。



整備方針骨子の（案）への重要な視点

運営方法や公園設計内容は、利用者・地域と共有して推進する考え

2. 前回検討会の主な意見

③公園ルール・使われ方について

- ・現在の公園には**禁止事項が多い**。
制限だけでなく**プラスの情報も積極的に提供**することが重要である。
- ・**千代田区公園**できることマップのようなものがあると良い。

- ・**排他的なアクティビティ**とそうではないものを整理する必要がある。
特定のアクティビティが強い排他性を持つ場合でも、**他の世代に教える姿勢を持ったりすることで、他の利用者との調和や共存が生まれる可能性**がある。

本日報告

現在のできることマップを作成

花火の試行利用 (別紙5)

排他的・共存アクティビティ資料の作成

2. 前回検討会の主な意見

その他意見

- ・ 計画を立てながらパイロット事業を行うのは良い。実際につくることを意識しながら議論することは大事。
- ・ パイロット事業は空間のデザインだけではなく、運営の仕組みについてもできると良い。
- ・ アンケート結果分析についてはクロス集計もお願いしたい。 ⇒本日報告

3. 整備方針の骨子（案）

【章立て（案）】

章	タイトル	内容
1	整備方針改定の目的	1-1背景 1-2目的
2	整備方針の対象	2-1都市公園 2-2児童遊園 2-3広場
3	都市公園等の現状と課題	3-1アンケート調査 3-2ヒアリング調査 3-3カウント調査 3-4クロス集計 3-5現状分析と課題 3-6公開空地
		4-1整備方針の方向性（コンセプト）
4	千代田区公園等整備方針	4-2機能毎の方針 4-3地域毎の方針 4-3-1麴町・番町地域 4-3-2飯田橋・富士見地域 4-3-3神保町地域 4-3-4神田公園地域 4-3-5万世橋地域 4-3-6和泉橋地域 4-3-7大手町・丸の内・有楽町・永田町地域
5	取組の推進	5-1推進体制 5-2地域住民との関わり

本日の議題

■本日の報告事項

【現状分析】

- ・千代田区の地域特性
- ・できることマップ

【利用者ニーズ分析】

- ・アンケート調査等のクロス集計結果

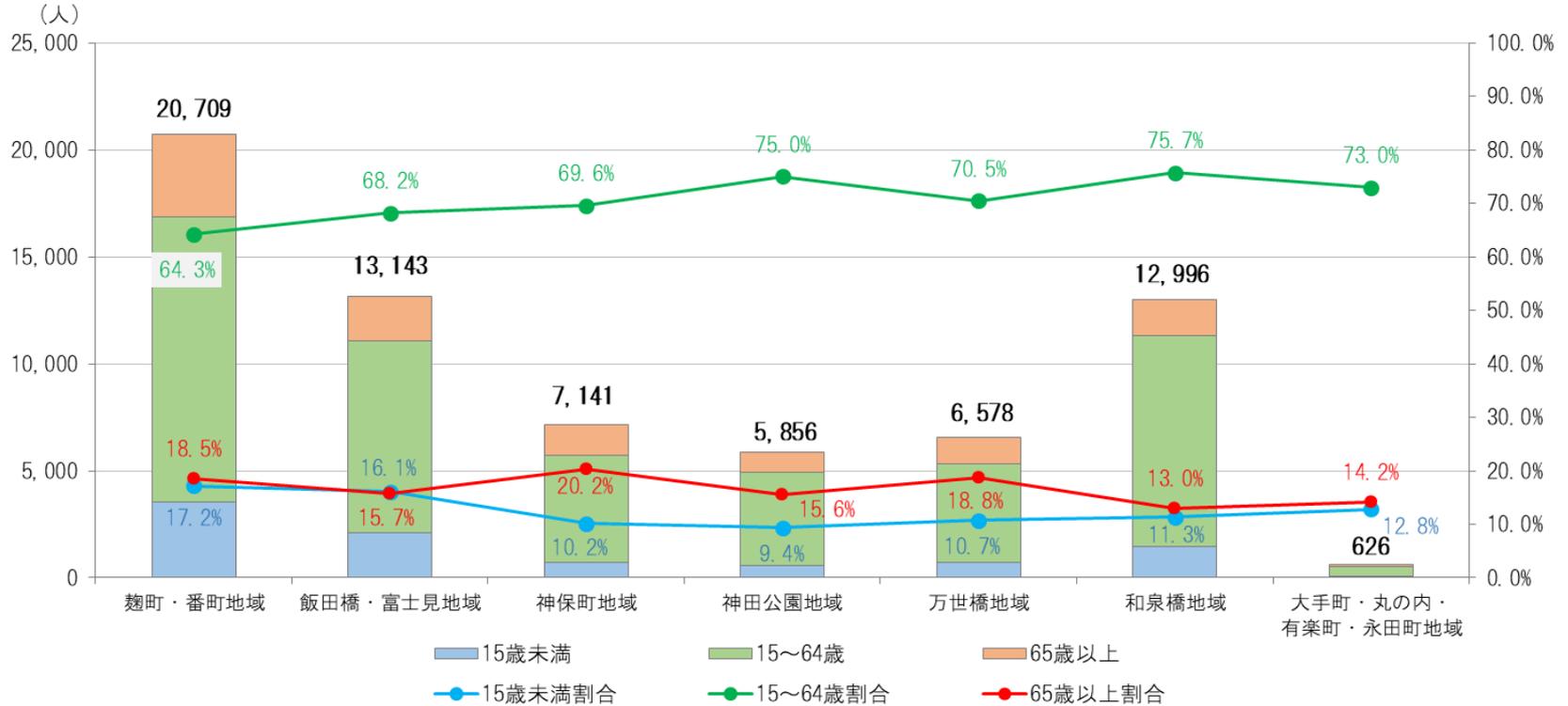
■本日の協議事項

- ・整備方針改定の視点及びコンセプト

5. 【現状分析】千代田区の地域特性

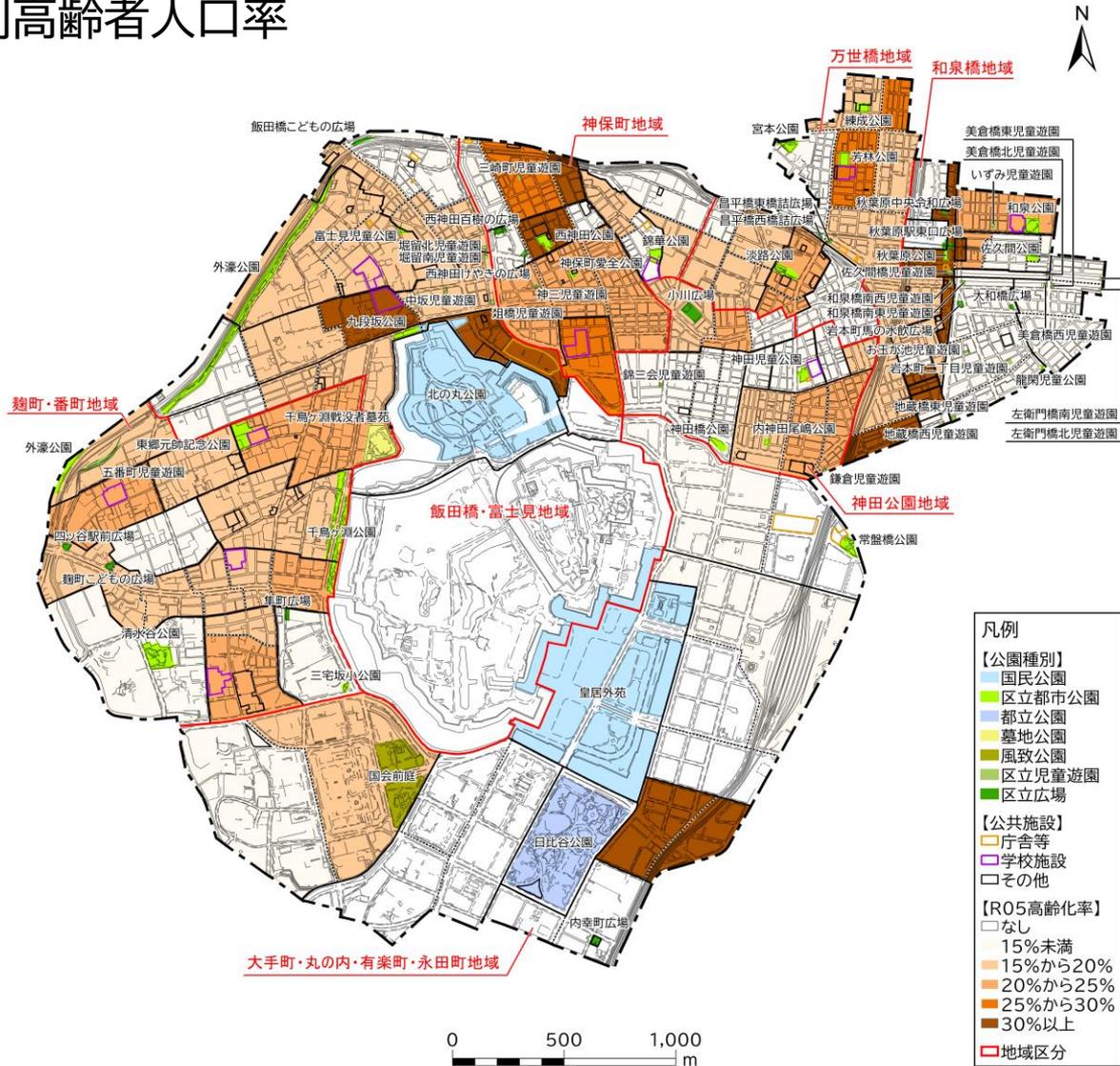
地域別人口

出典) 千代田区行政基礎資料集(令和4年版)人口・面積
 (「大手町・丸の内・有楽町・永田町地域」については、「麹町・番町地域」より町丁目を抽出し算出)



- ・ 麹町・番町地域、飯田橋・富士見地域は15歳未満の割合が他地域と比べて高い
- ・ 麹町・番町地域、神保町地域、万世橋地域は65歳以上の割合が他地域と比べて高い

◆R05 町丁目別高齢者人口率



・ 神保町地域、万世橋地域、神田公園地域、和泉橋地域は高齢者人口率が高い

◆H30からR05 町丁目別年少人口率の増減率と公園誘致圏

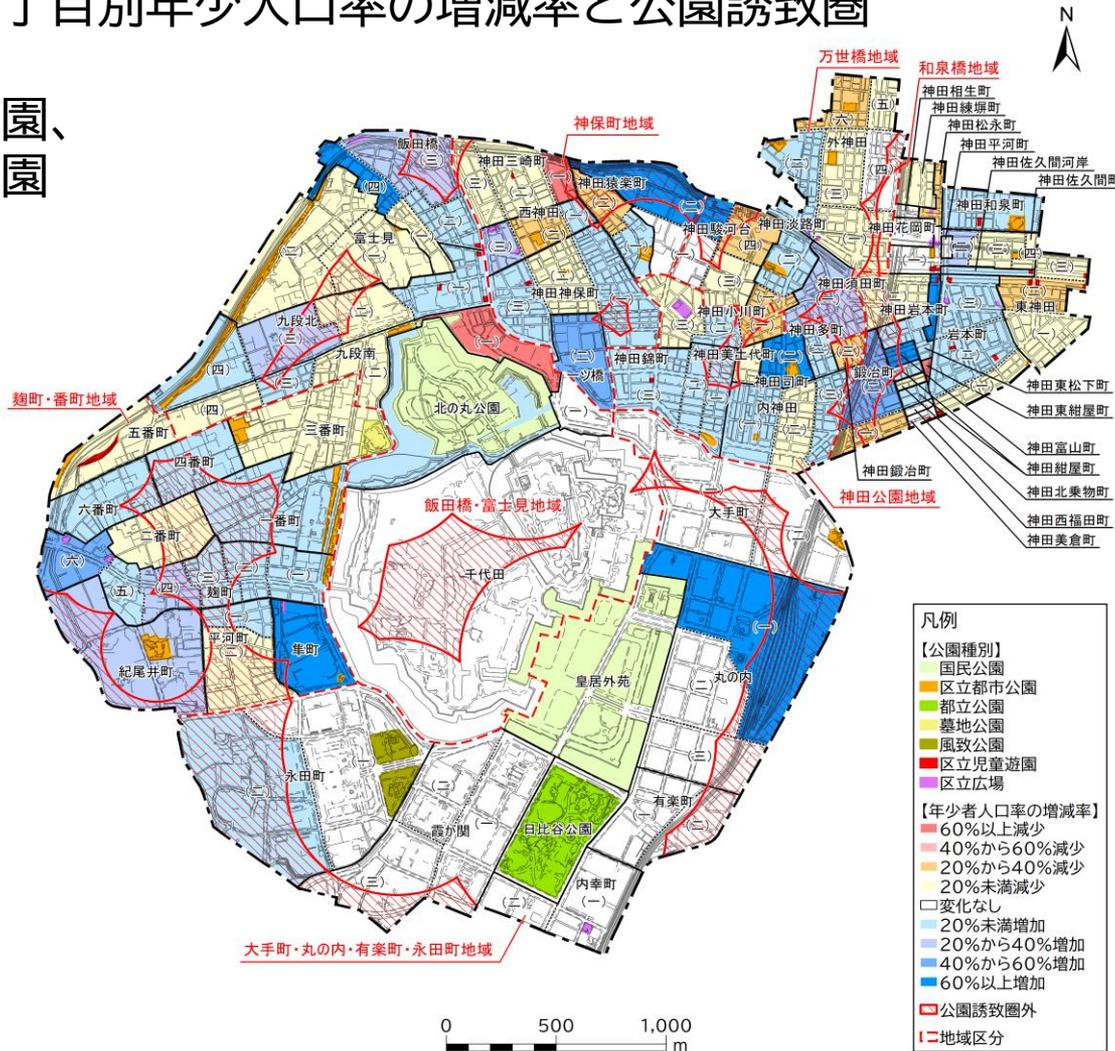
【誘致圏の設定】

国民公園、都立公園、
風致公園、墓地公園

(面積約2ha)
..... 500m

区立都市公園、
区立児童遊園、
区立広場

(面積約0.25ha)
..... 250m

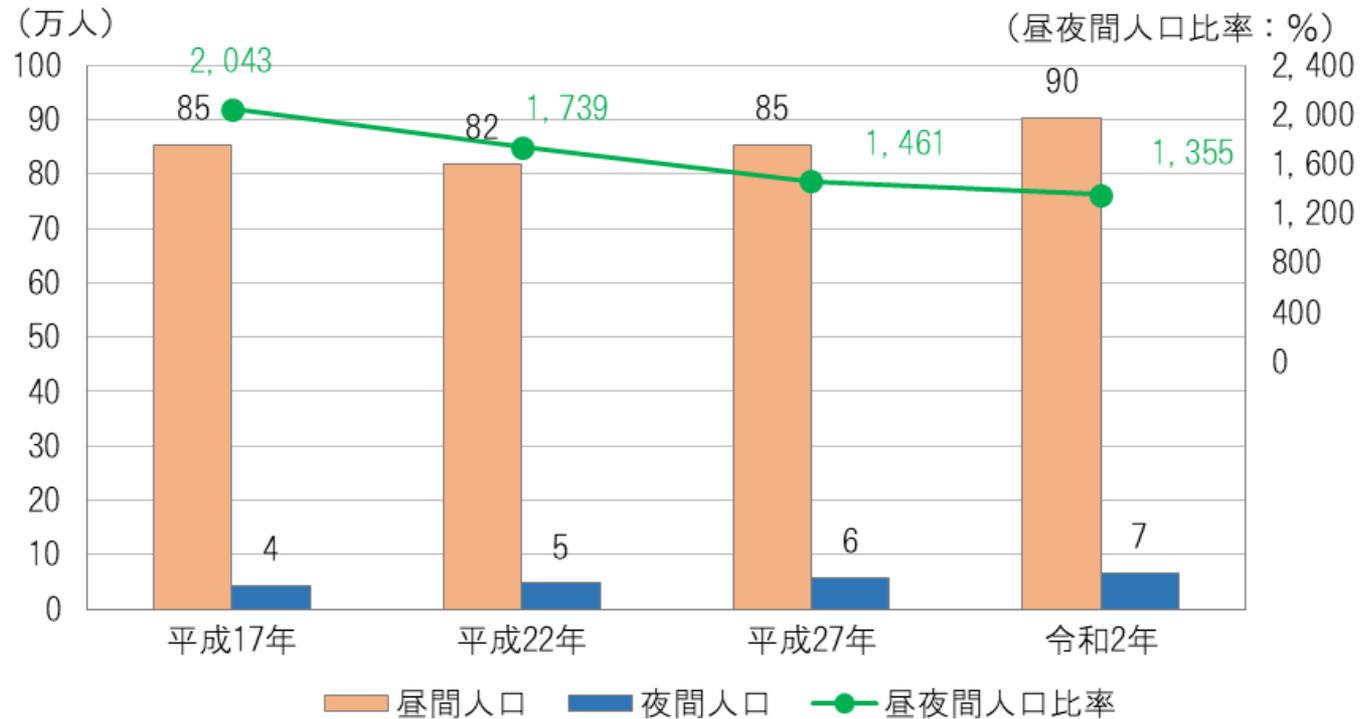


- ・地域に関わらず一部の地域で60%以上増加している場所がある
- ・麴町・番町地域、神保町地域、神田公園地域は年少者人口が増加傾向にある
- ・公園誘致圏外となっている場所が各地域に点在している
- ・公園誘致圏外で年少者の人口率が増加している場所が比較的多い

5. 【現状分析】千代田区の地域特性

昼間人口

出典) 千代田区HP 区の位置・面積・人口(国勢調査)



- ・ 昼間人口が90万人ほどおり、昼夜間人口比率が高い
- ・ 他区と比較しても昼夜間人口比率は1番高い

5. 【現状分析】千代田区の地域特性

千代田区立 公園・児童遊園・広場位置図



表 千代田区立公園等一覧

公園名	所在地	面積 (m ²)
区立公園		
宮本公園	外神田二丁目16番9号	3,312.39
芳林公園	外神田三丁目5番18号	1,953.81
東郷元帥記念公園	三番町16番地	7,116.43
晴成公園	外神田六丁目11番19号	1,993.38
錦華公園	神田錦家町一丁目1番2号	2,758.97
淡路公園	神田淡路二丁目27番	3,000.02
西神田公園	西神田二丁目3番11号	2,084.42
神田児童公園	神田御二丁目2番地	2,179.37
神田公園	神田御一丁目29番地	1,843.66
佐久間公園	神田佐久間三丁目21番地	1,050.81
三宅坂小公園	神田4番3号	802.41
晴明児童公園	岩本町一丁目14番1号	261.61
常盤橋公園	大手町二丁目7番2号	2,556.00
清水谷公園	記尾井町2番1号	10,701.17
千鳥ヶ淵公園	麹町一丁目2番地、一番町2番地	15,845.60
九段北公園	九段北二丁目2番18号	2,043.71
富士見児童公園	富士見一丁目1番16号	623.72
神田神保町公園	神田神保町二丁目20番地3	400.00
和泉公園	神田和泉町1番地300	4,607.71
秋葉原公園	神田久松町一丁目18番地	704.99
内神田児童公園	内神田一丁目5番14号	386.76
外濠公園	富士見二丁目、九段北四丁目5番町	39,271.61
計22カ所 105,541.61		
区立児童遊園		
五番町児童遊園	五番町12番地先	2,271.00
旭橋児童遊園	九段北一丁目1番1号	252.33
中込児童遊園	九段北一丁目13番1号	87.92
堀留児童遊園	九段北一丁目6番9号	195.00
堀坂北児童遊園	堀坂二丁目1番1号	189.00
神田児童遊園	神田神保町三丁目10番地	188.42
三宅坂児童遊園	神田御二丁目12番12号	73.17
錦三合児童遊園	神田錦三丁目3番地	124.00
錦倉児童遊園	内神田三丁目1番2号	89.00
地蔵橋西児童遊園	岩本町一丁目1番1号	307.00
地蔵橋西児童遊園	神田美倉町10番地	67.00
お玉が池児童遊園	岩本町二丁目5番1号	158.67
岩本町二丁目児童遊園	岩本町二丁目18番6号	206.82
和泉橋児童遊園	北町三丁目11番16号	197.61
和泉橋西児童遊園	神田岩本町15番地	92.79
美倉橋西児童遊園	東神田二丁目8番16号	163.00
美倉橋西児童遊園	東神田二丁目3番1号	183.00
美倉橋北児童遊園	神田佐久間三丁目92番地先	96.00
佐久間橋児童遊園	神田佐久間町一丁目11番地	357.86
左衛門橋西児童遊園	神田二丁目1番1号	108.00
左衛門橋北児童遊園	神田三丁目1番17号	79.00
いずみ児童遊園	神田和泉町1番地	352.79
計22カ所 5,838.38		
区立広場		
麹町こどもの広場	麹町六丁目2番地先	571.00
堀田橋こどもの広場	堀田橋三丁目12番3号	244.00
岩本橋西児童広場	外神田一丁目1番1号	86.95
四ツ谷駅前広場	外神田二丁目1番17号	67.71
四ツ谷駅前広場	麹町六丁目6番地先	658.80
内幸町広場	内幸町一丁目5番1号	1,357.28
小川広場	神田小川町三丁目6番地	3,179.63
西神田けやきの広場	西神田三丁目36番地	342.39
春日広場	春日1番地	395.24
岩本町西の敷広場	岩本町三丁目10番地	378.45
西神田百輪の広場	西神田三丁目39番2	808.87
秋葉原駅前広場	神田佐久間町一丁目22番地先	779.86
大和橋広場	岩本町三丁目6番地先	137.54
秋葉原中央令和広場	神田松永町200番地	191.43
計14カ所 9,199.15		

- 5,000m²以上の公園は東郷元帥記念公園、清水谷公園、千鳥ヶ淵公園、外濠公園の4公園のみである
- 2500m²（街区公園の標準面積）以下の公園は49/58と全体の84%を占めている
- 500m²未満の公園は32/58と全体の約55%を占めている

5. 【現状分析】千代田区の地域特性

千代田区立公園等 できることマップ 令和5年10月時点



できること	
遊具	設置公園数(整備予定)
複合遊具	11 (2)
すべり台	5
ブランコ	4
砂場	12
鉄棒	4
回転遊具	0 (1)
スプリング遊具	5
スイング遊具	4
ジャングルジム	1
健康遊具	1
インクルーシブ遊具	0
その他	
水景施設	4 (2) (こどもの池)
ボルダリング	5)
青空将棋(囲碁)	0
ボール遊び(フットサル)	0
スケートボード	1 (遊び場事業 7)
ドッグラン	0

マーク凡例

できることあり	都市児童広場	できることなし	都市児童広場
● 5000m ²	3	○ 5000m ²	1
● 2500~5000m ²	4	○ 2500~5000m ²	1
● 1000~2500m ²	3	○ 1000~2500m ²	4
● 500~1000m ²	1	○ 500~1000m ²	2
● 500m ² 未満	1	○ 500m ² 未満	2

※「できること」は右上一覧を参照

アイコン凡例

複合遊具	スプリング遊具
すべり台	スイング遊具
ブランコ	ジャングルジム
砂場	健康遊具
鉄棒	水景施設
回転遊具	

遊びに関する事業

こどもの池	ボール遊び
令和5年度こどもの池 池の深さ: 30cm程度 トイレ・シャワー設備あり 毎日水の入替え、監視員常駐 【期間】7月21日(金曜日) ~ 9月10日(日曜日) 午前10時~午後4時 (12時~午後1時は利用不可)	子どもの遊び場事業 時間・場所を限定して ボール遊び可能

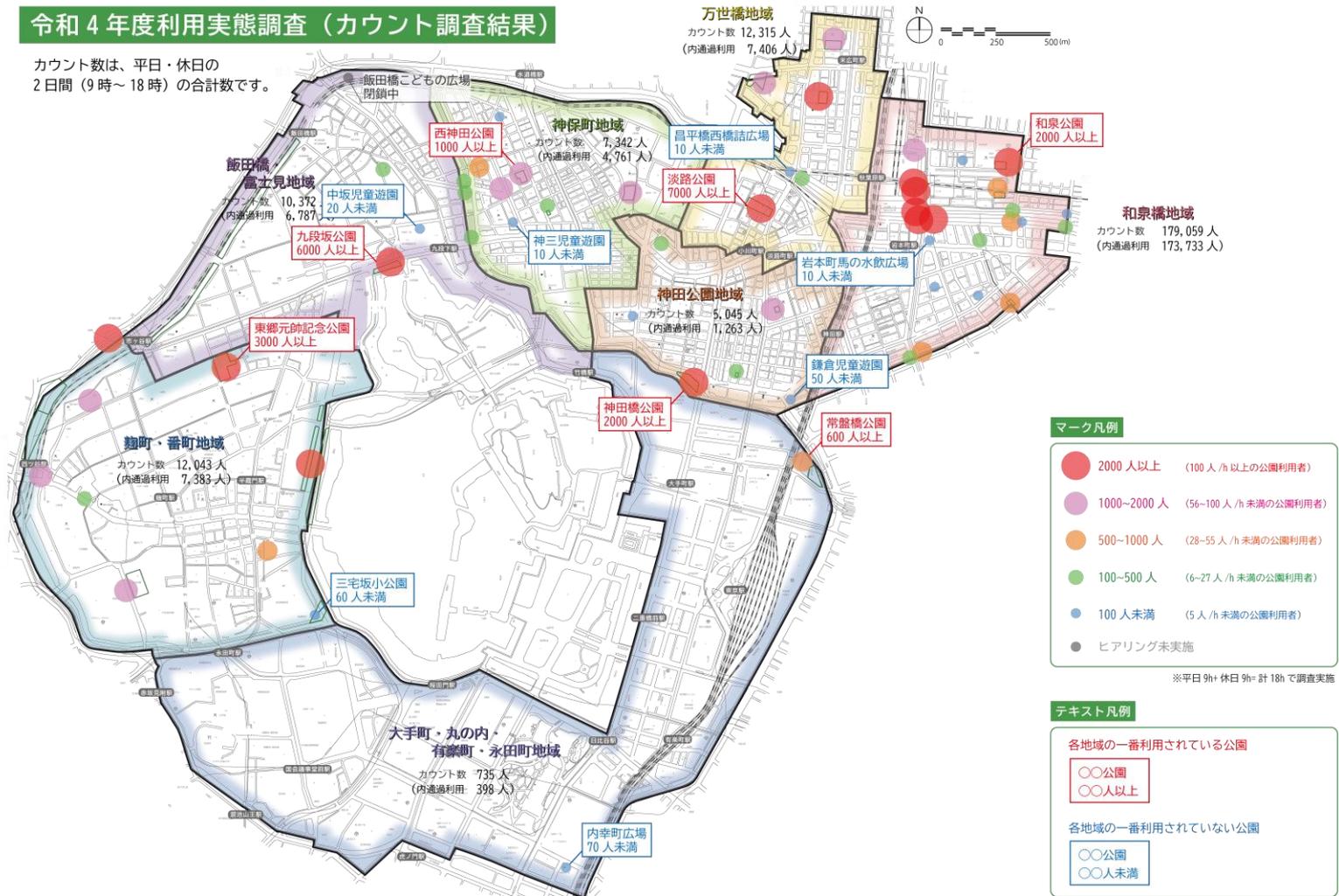


- ・ できることのバリエーションは少ない現状です
- ・ こどもの池、ボール遊びは可能ですが、限定的なものになっています
- ・ 和泉橋地域は公園等の数に対して、できることが少ない現状です

5. 【現状分析】千代田区の地域特性

令和4年度利用実態調査（カウント調査結果）

カウント数は、平日・休日の
2日間（9時～18時）の合計数です。



- ・多いところは、約7,000人利用
- ・少ないところは、10人未満

6. ここまでの千代田区の現状分析結果

千代田区の地域人口特性がある

- ・ 麴町・番町地域、飯田橋・富士見地域：15歳未満の割合が他地域と比べて高い
- ・ 麴町・番町地域、神保町地域、万世橋地域：65歳以上の割合が他地域と比べて高い
- ・ 昼夜間人口比率が高い

千代田区小規模公園が多い

- ・ 5,000m²以上の公園：東郷元帥記念公園、清水谷公園、千鳥ヶ淵公園、外濠公園
- ・ 2500m²（街区公園の標準面積）：49/58と全体の84%
- ・ 500m²未満の公園：32/58と全体の約55%

画一的な整備 遊具が乏しい

- ・ できることのバリエーションは少ない現状
- ・ こどもの池・ボール遊び可の場所があるが、時間・場所限定的
- ・ 公園数58に対して複合遊具11、砂場11、常時ボール遊びできる施設0

利用されていない公園がある

- ・ 多いところは、約7,000人利用
- ・ 少ないところは、10人未満

7. 排他的アクティビティ / 共存アクティビティ

		共存性	排他性	領域	動き
ボール遊び	キャッチボール		弱	中	多
	野球		強	広	多
	サッカー		強	広	多
	バスケ		強	広	多
	テニス		強	広	多
	ボルダリング		弱	狭	少
	クロッカー		強	中	多
	ベタンク		強	中	少
遊具	複合遊具		弱	広	少
	すべり台		弱	中	少
	ブランコ		弱	中	少
	回転遊具		弱	狭	少
	スプリング遊具		弱	狭	少
	砂場	弱		狭	少
	健康遊具	弱		狭	少
公園施設	ベンチ	強		狭	少
	デッキ	強		中	少
	芝生広場	強		広	多/少
	ドッグラン		強	広	多
	スケートパーク		強	広	多
	菜園	弱		中	少
アクティビティ	ヨガ	弱		中	少
	ランニング	弱		狭	多
	ウォーキング	強		狭	多
	サイクリング		強	中	多
	BMX		強	中	多
	ストリートダンス	強		中	多
	水遊び		弱	中	多
	花見	弱		中	少
	青空将棋	弱		狭	少
イベント	祭り		強	広	多
	グルメイベント		強	広	多
	フリーマーケット		強	広	多
火気使用	花火		強	広	多
	焼き芋		強	広	少
	BBQ		強	中	少

排他性が高いアクティビティに「緑色」の着色をしています。※ニーズも高い

【利用者のニーズをアンケート調査などから考える】

・調査手法の確認

① アンケート調査

- ・調査対象：区民・区内全域の小学校児童と保護者及び中学校生徒・区内全域の幼稚園・保育施設保護者・各施設の職員等
※16歳以上の区民、保護者、職員を「おとな」、小学生、中学生を「こども」として集計
- ・調査方法：郵送によるアンケート票配布及びQRコードを用いたWEBアンケート
- ・調査期間：令和4年10月17日～12月28日
- ・配布総数：21,324人（出張所等へのアンケート設置数300含む）
うち回答総数：7,575人（総回収率35.5%）

② ヒアリング調査

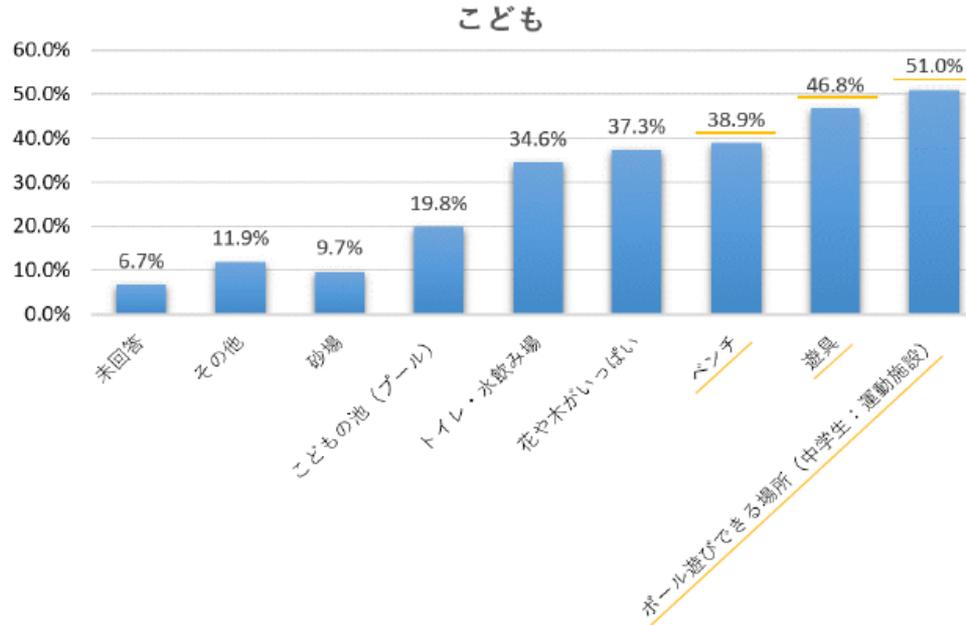
- ・調査箇所：公園22カ所、児童遊園19カ所、広場10カ所
- ・調査方法：調査員数名を配置し、利用状況等について聞き取り調査
- ・調査期間：令和4年11月18日～28日の平日・休日の2日間実施（各箇所）
- ・調査時間：9時～18時（9時間）
- ・サンプル数：平日1,082人 休日：1,261人 計2,343人

8. 各種調査結果

【アンケート調査 こどもの単純集計】

・身近な公園に欲しいもの（問10）

複数回答あり



～ 公園の利用目的 ～
①遊び
②運動
③友達との談笑

～ 公園への不満 ～
①遊具の種類・数
②ベンチなどの種類
③トイレ・水飲みなどの種類

～ 公園に欲しいもの ～
★ボール遊びができる場所 (運動施設)
★遊具
★ベンチ

1位 51.0%

2位 46.8%

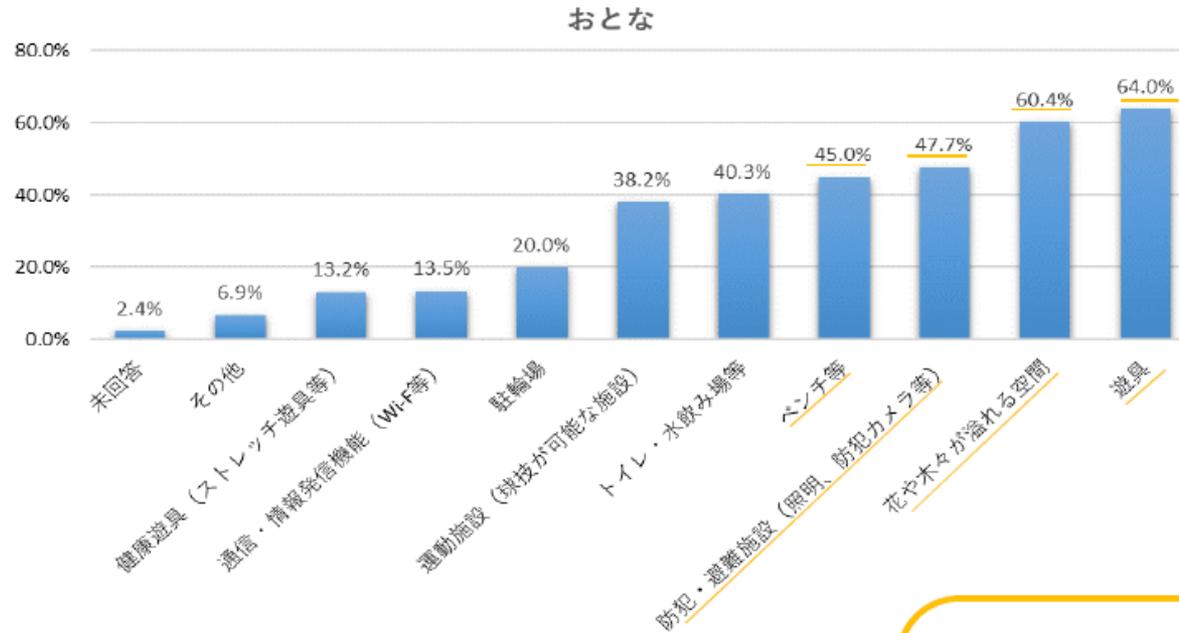
3位 38.9%

8. 各種調査結果

【アンケート調査 おとなの単純集計】

・身近な公園に欲しいもの（問19）

複数回答あり



～ 公園の利用目的 ～

- ①子供と遊ぶため
- ②散歩
- ③運動

～ 公園への不満 ～

- ①身近な公園等の数
- ②遊具の充実度
- ③公園等への広さ

～ 公園に欲しいもの ～

- ★遊具 → 1位 64.0%
- ★花や木々が溢れる場所 → 2位 60.4%
- ★防犯・避難施設 (照明、防犯カメラ等) → 3位 47.7%
- ★ベンチ等 → 4位 45.0%

8. 調査手法について

① アンケート調査

クロス集計を実施

【こども】

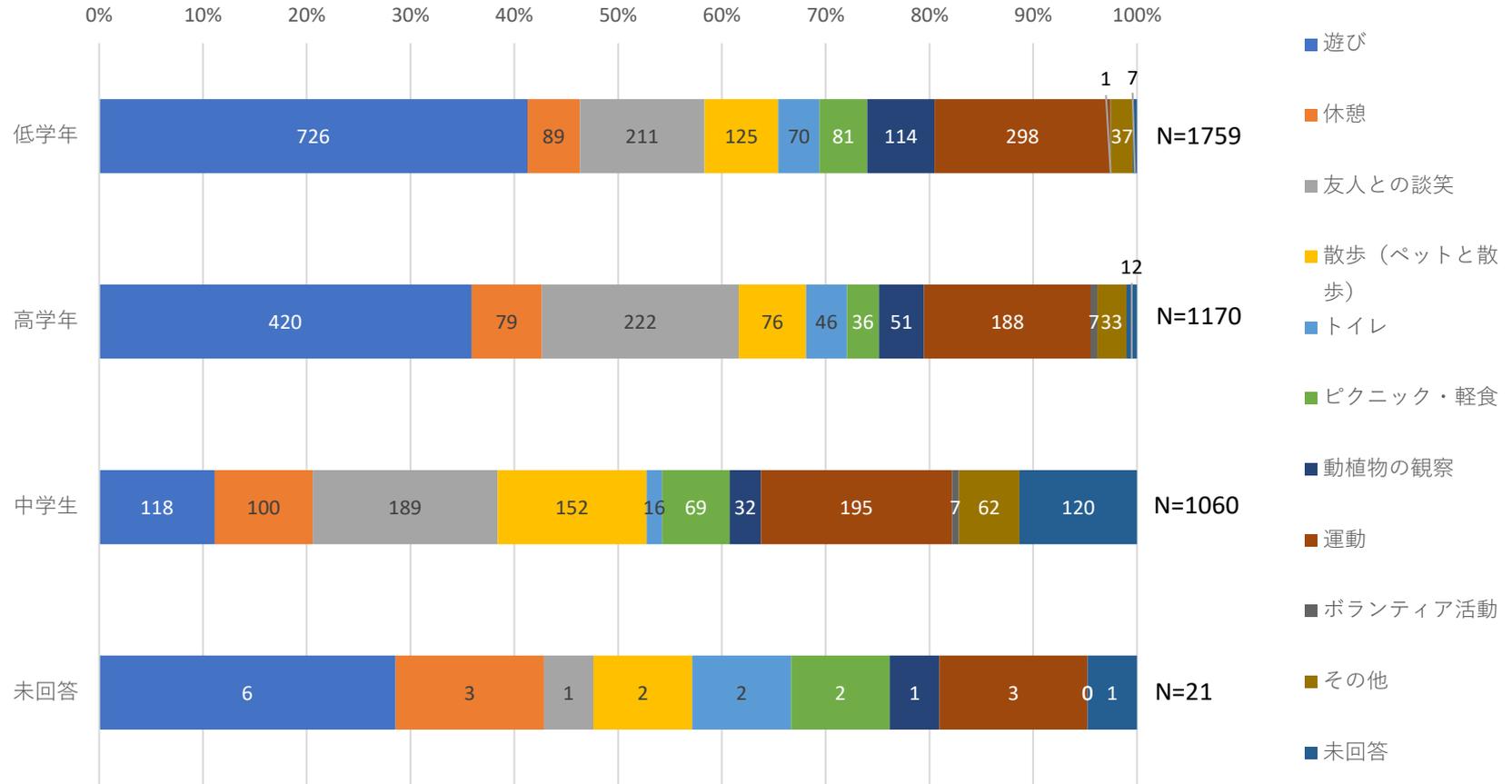
- ①利用目的 × 年代
- ②地域 × 利用目的
- ③利用頻度 × 年代
- ④利用頻度 × 地域
- ⑤身近な公園に求めるもの × 年代

【おとな】

- ①利用目的 × 年代
- ②地域 × 利用目的
- ③利用頻度 × 利用目的
- ④利用頻度 × 地域
- ⑤身近な公園に求めるもの × 年代

8. 各種調査結果クロス集計

① こども 利用目的 × 年代



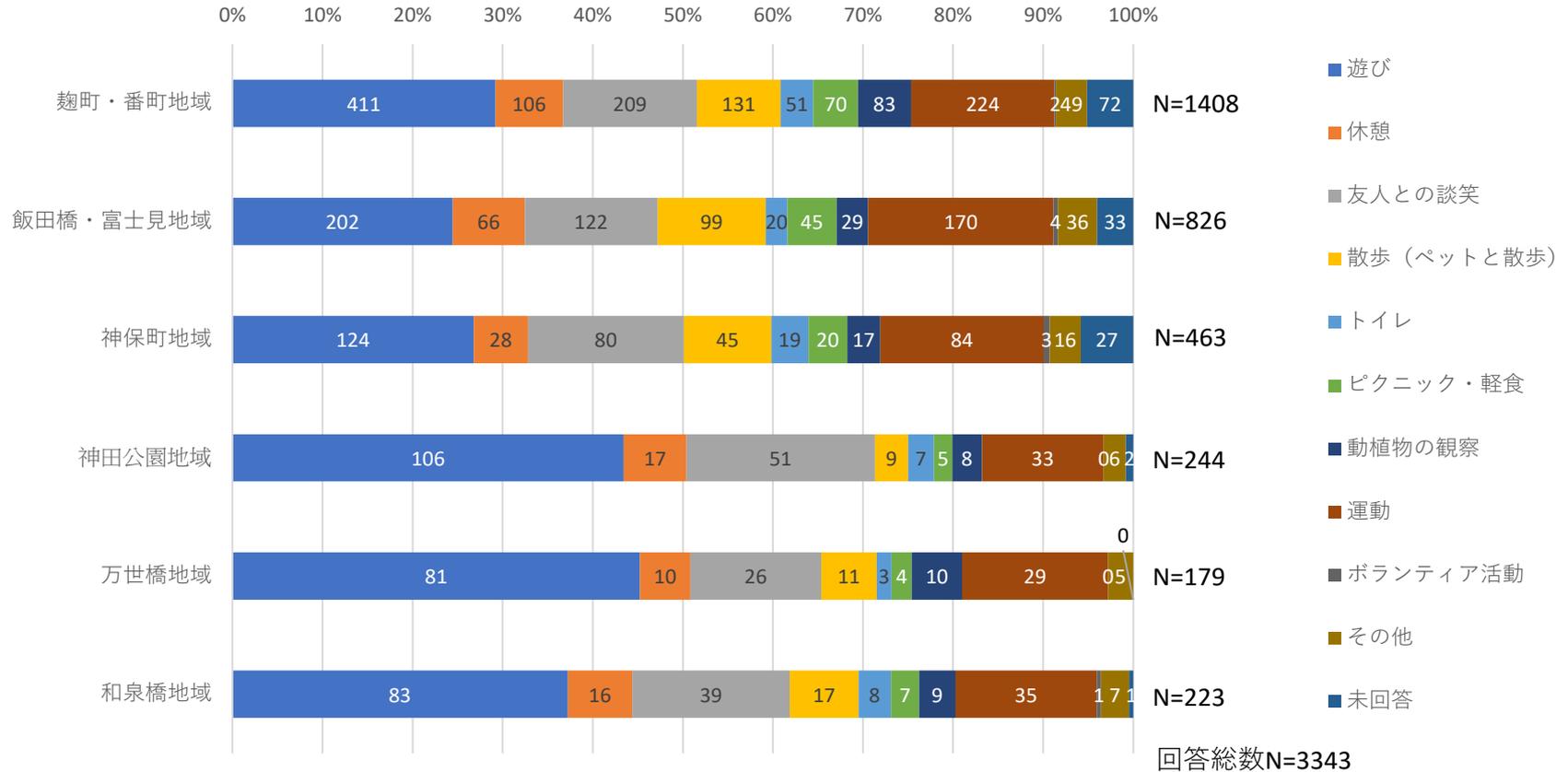
回答総数N=4010

- ・ 低学年は遊び、運動での利用目的が高い
- ・ 高学年は遊び、運動に加え、友人との談笑での利用目的が高い
- ・ 中学生は運動や友人との談笑の利用目的が高く、利用目的のばらつきが見られる

8. 各種調査結果クロス集計

②子ども 地域※（学校所在地） × 利用目的

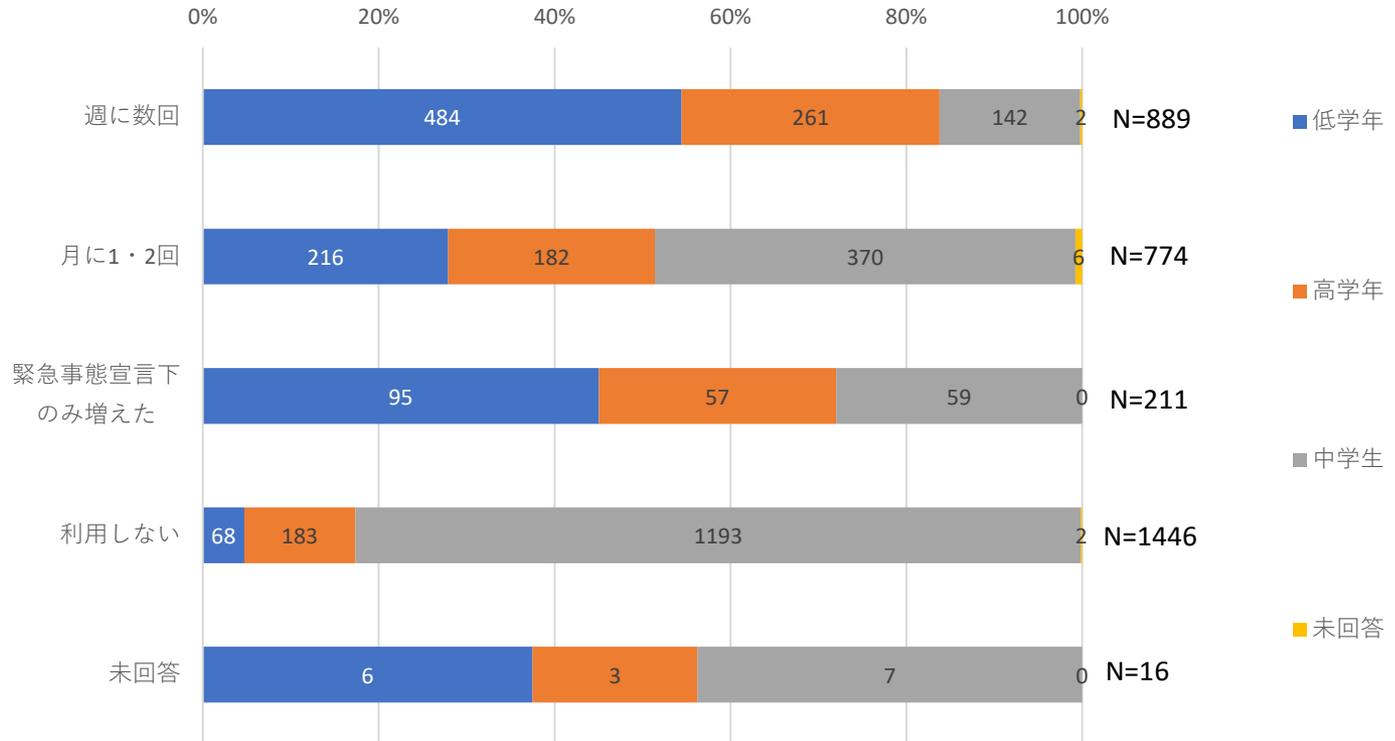
※千代田区都市マスタープランで位置づけられている7つの地域区分



- ・各地域共に遊び、友人との談笑、運動での利用が高い
- ・神田公園地域、万世橋地域では遊びでの利用が高い
- ・麴町・番町地域、神保町地域では友人との談笑での利用が高い
- ・飯田橋・富士見地域では運動での利用が高い

8. 各種調査結果クロス集計

③子ども 利用頻度 × 年代



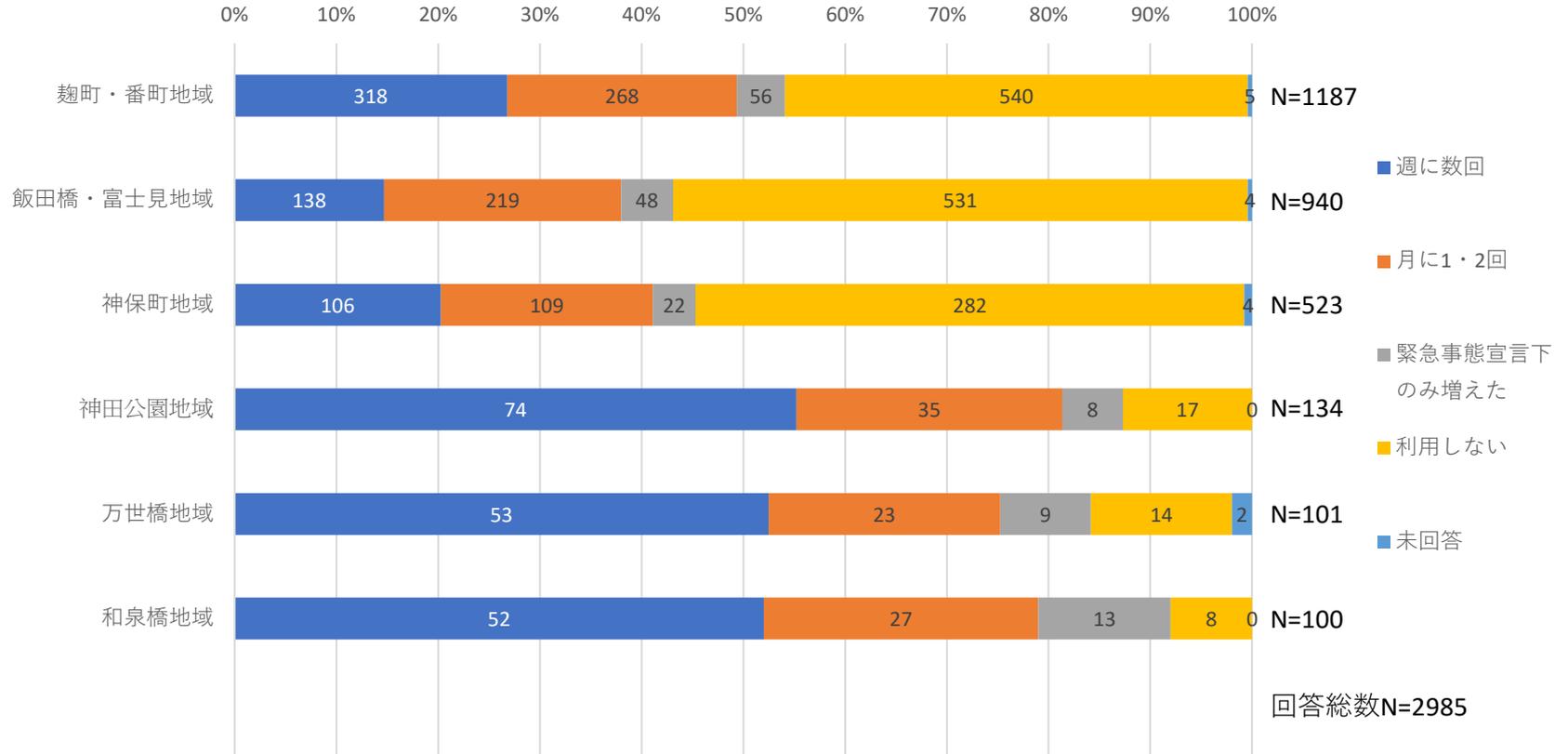
回答総数N=3336

- ・ 低学年 > 高学年 > 中学生の順で利用頻度が高い

8. 各種調査結果クロス集計

④子ども 利用頻度 × 地域※（学校所在地）

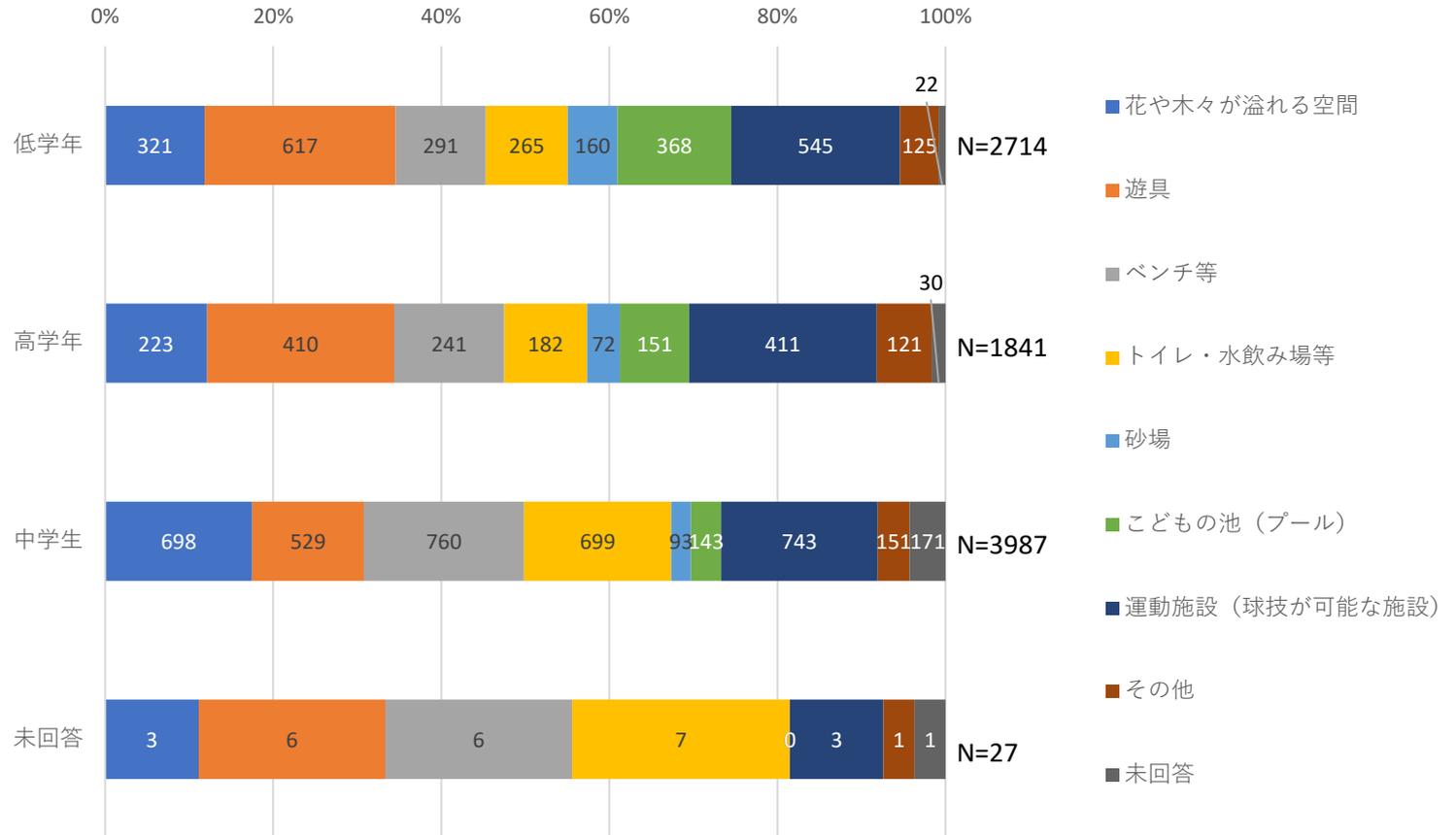
※千代田区都市マスタープランで位置づけられている7つの地域区分



- ・ 麴町・番町地域、飯田橋・富士見地域、神保町地域での利用頻度が低い
- ・ 神田公園地域、万世橋地域、和泉橋地域での利用頻度が高い

8. 各種調査結果クロス集計

⑤こども 身近な公園に求めるもの × 年代



回答総数N=8569

- ・ 低学年では遊具、運動施設の希望が高い
 - ・ 高学年でも同様の傾向がある
- ・ 中学生ではみどり、遊具、ベンチ、トイレ・水飲み、運動施設の希望が満遍なく高い

8. 各種調査結果クロス集計

クロス集計結果の分析「こども」 ※15歳以下を「こども」としてカウントしています

- ・小学生と中学生で利用目的傾向が異なる
- ・低学年は遊び、運動での利用目的が高い
- ・高学年は遊び、運動に加え友人との談笑の利用目的が高い
- ・中学生は運動や友人との談笑の利用目的が高く、利用目的のばらつきが見られる

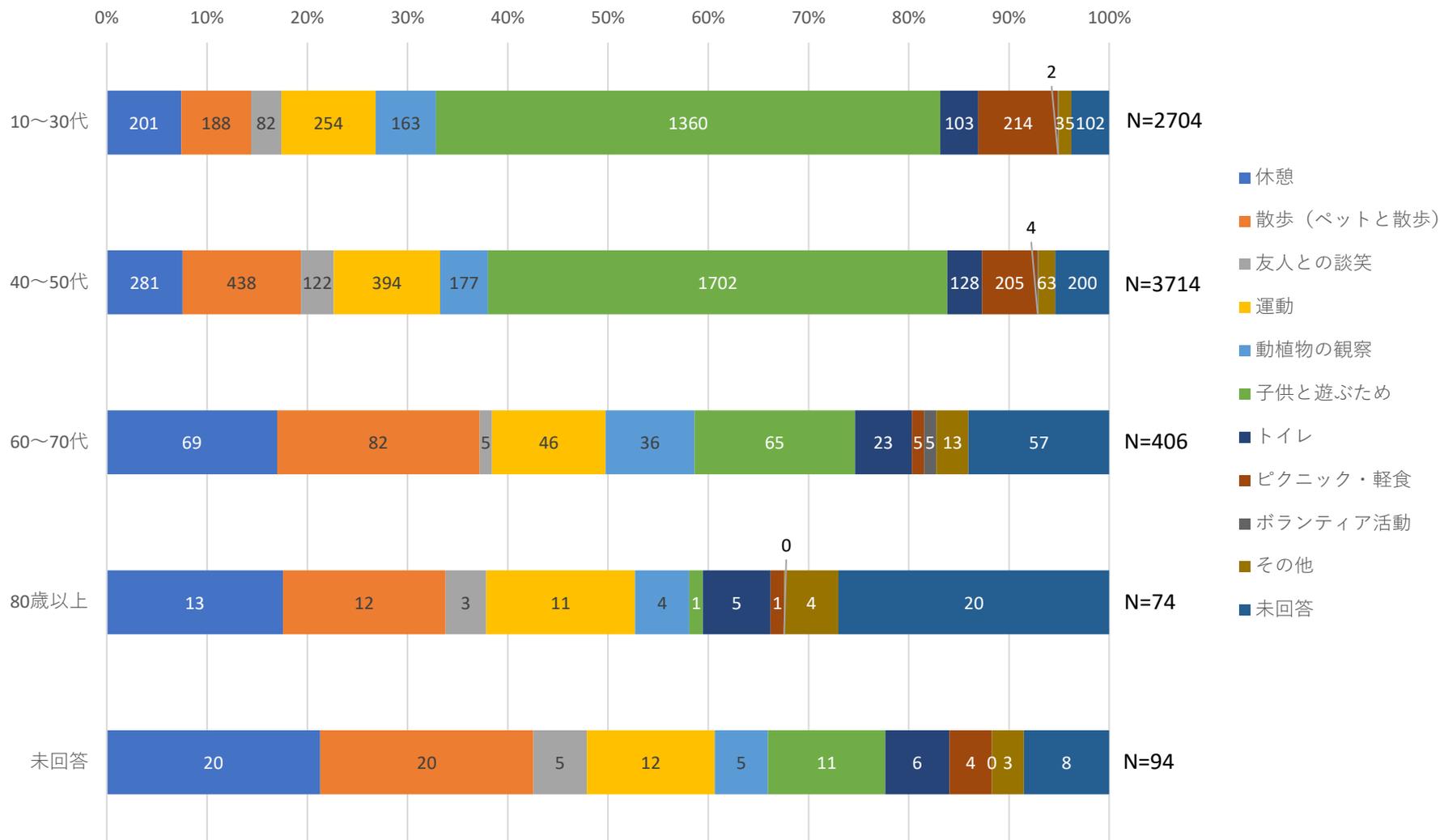
- ・大人と異なり利用目的に地域差がみられる
- ・神田公園地域、万世橋地域では遊びでの利用が高い
- ・麴町・番町地域、神保町地域では友人との談笑での利用が高い
- ・飯田橋・富士見地域では運動での利用が高い

- ・低学年＞高学年＞中学生の順で利用頻度が高い
- ・麴町・番町地域、飯田橋・富士見地域、神保町地域での利用頻度が低い
- ・神田公園地域、万世橋地域、和泉橋地域での利用頻度が高い

- ・低学年では遊具、運動施設の整備希望が高い（利用目的と同じ傾向）
- ・高学年でも同様の傾向が見られる
- ・中学生ではみどり、遊具、ベンチ、トイレ・水飲み、運動施設の希望が満遍なく高い（利用目的とはやや異なる傾向）

8. 各種調査結果クロス集計

①おとな 利用目的 × 年代



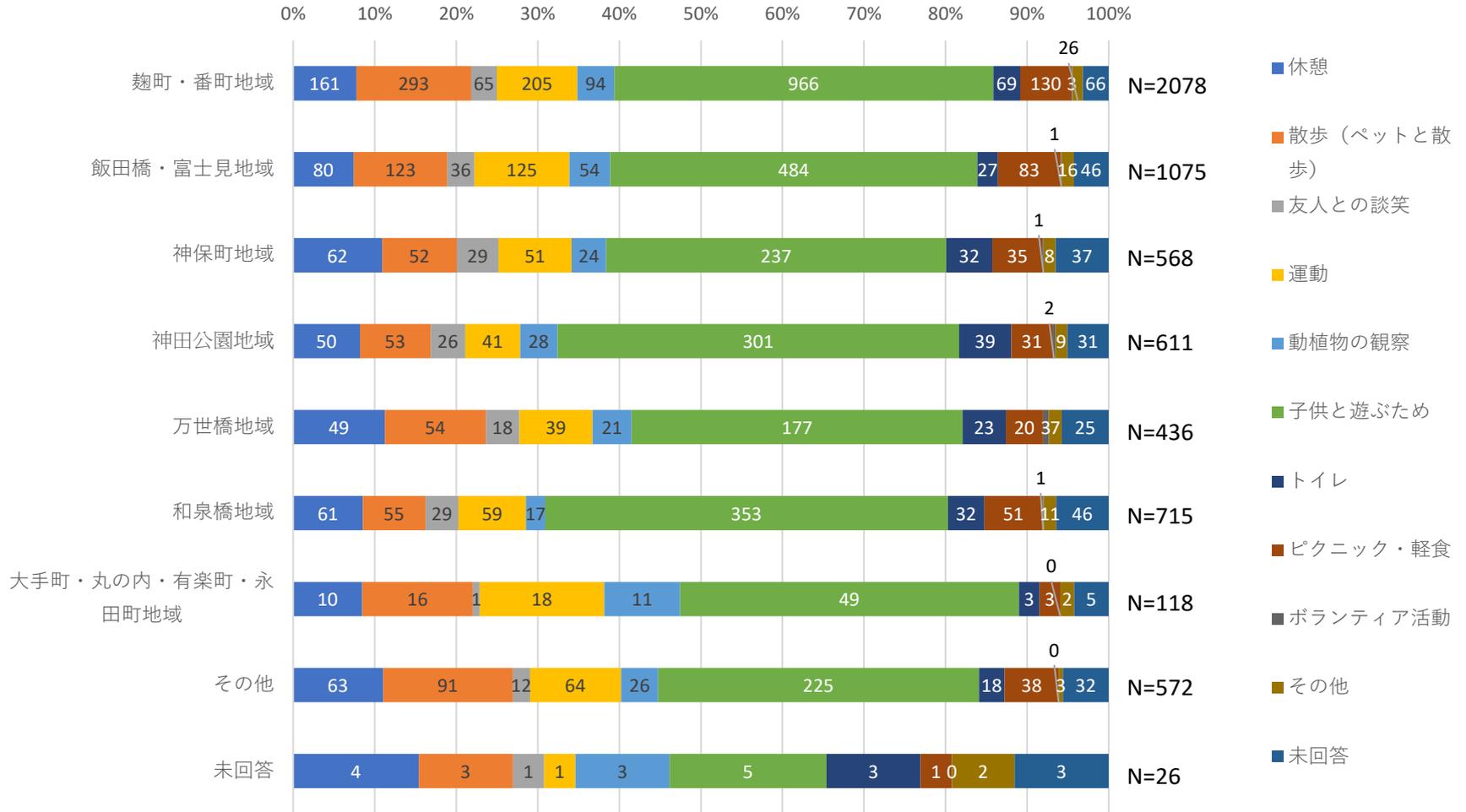
回答総数N=6992

・10代～50代は「子供と遊ぶため」が明確に大きな割合を占める

8. 各種調査結果クロス集計

②おとな 地域※（居住地） × 利用目的

※千代田区都市マスタープランで位置づけられている7つの地域区分

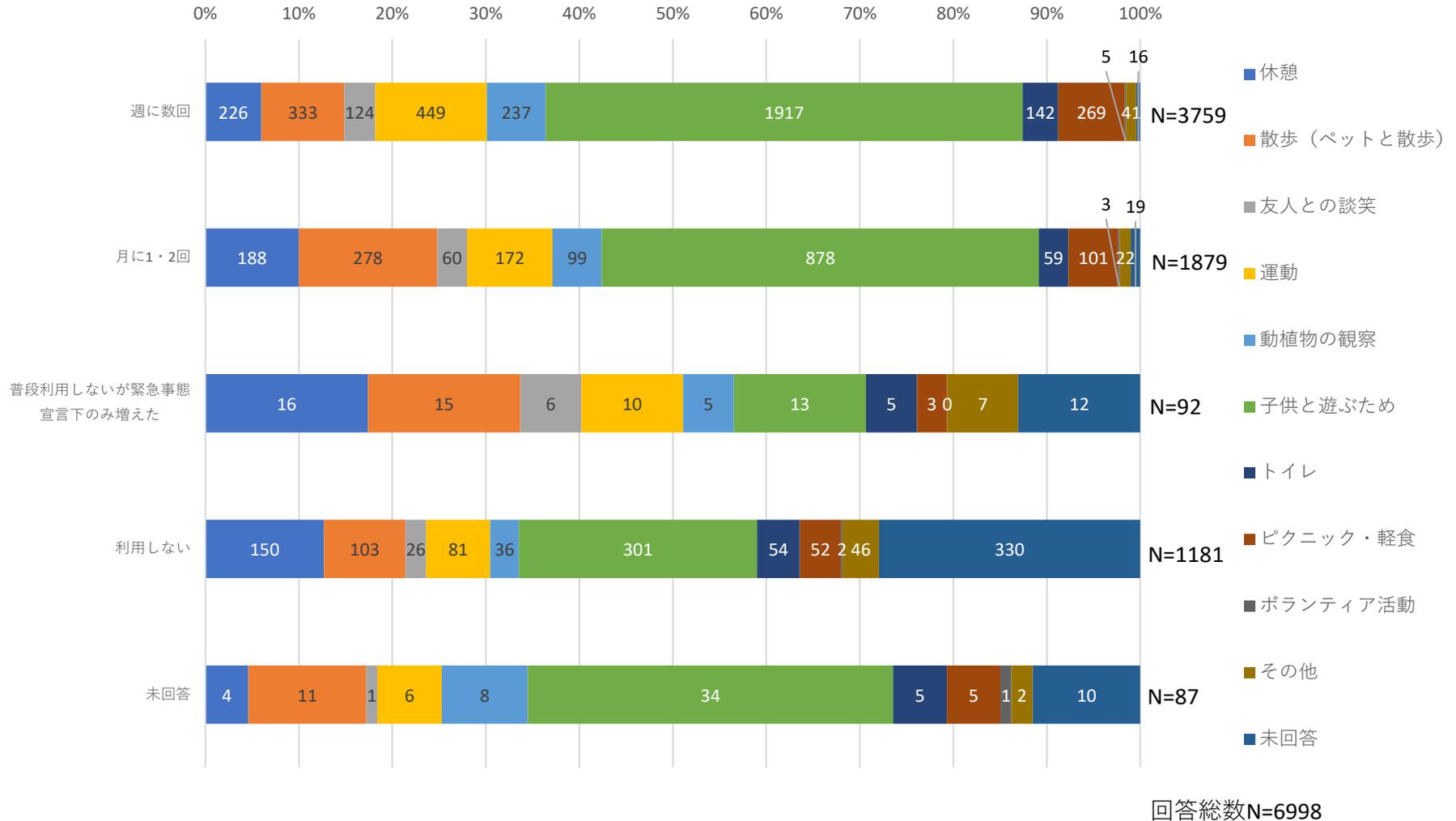


回答総数N=6199

・「子供と遊ぶため」という傾向は全ての地域で見られる

8. 各種調査結果クロス集計

③おとな 公園の利用頻度 × 利用目的

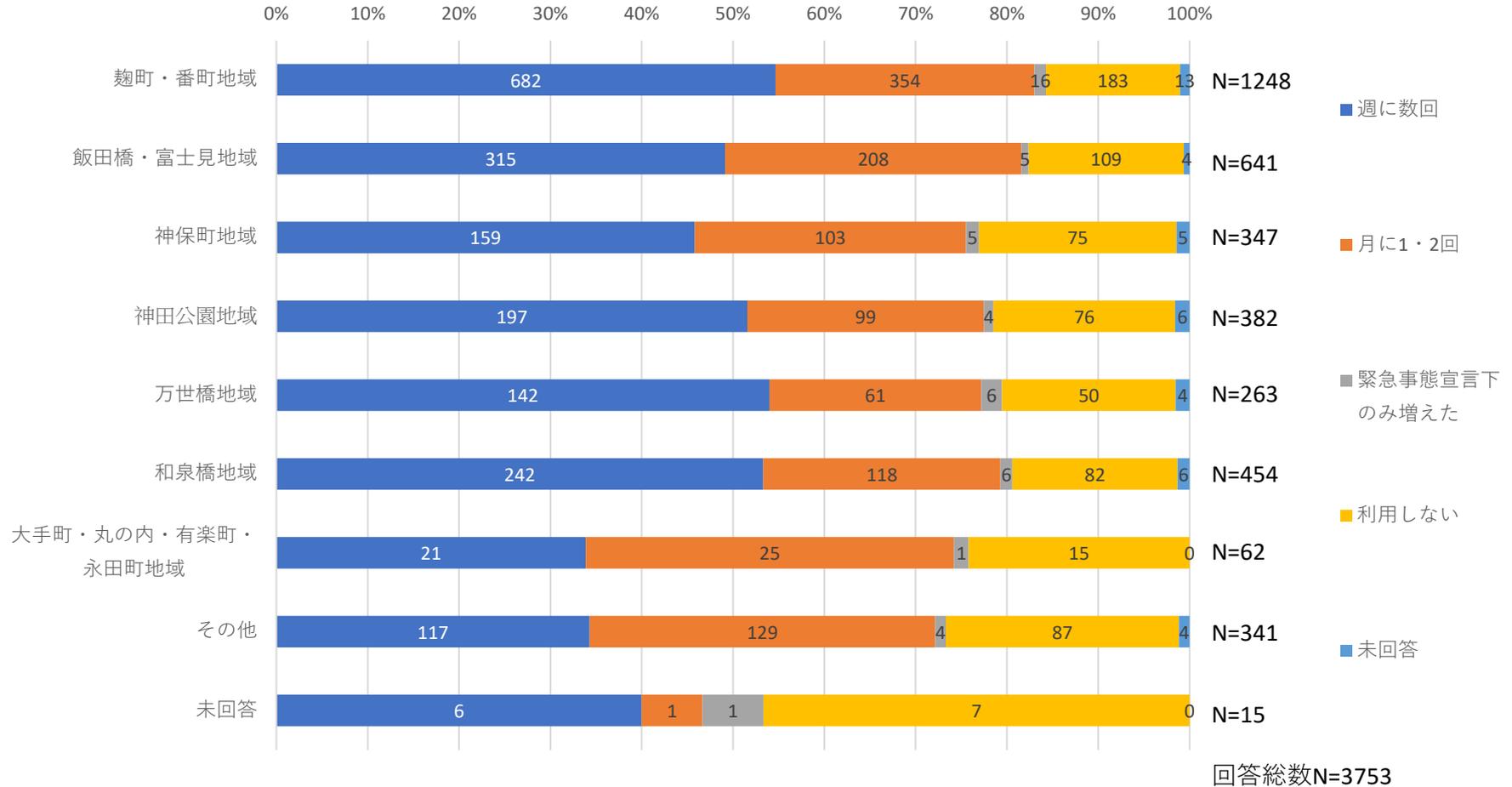


- ・ 利用頻度が高い人は「子供と遊ぶため」に利用している傾向が強い
- ・ 緊急事態宣言下で利用した人は目的が分散している

8. 各種調査結果クロス集計

④おとな 公園の利用頻度 × 地域※（居住地）

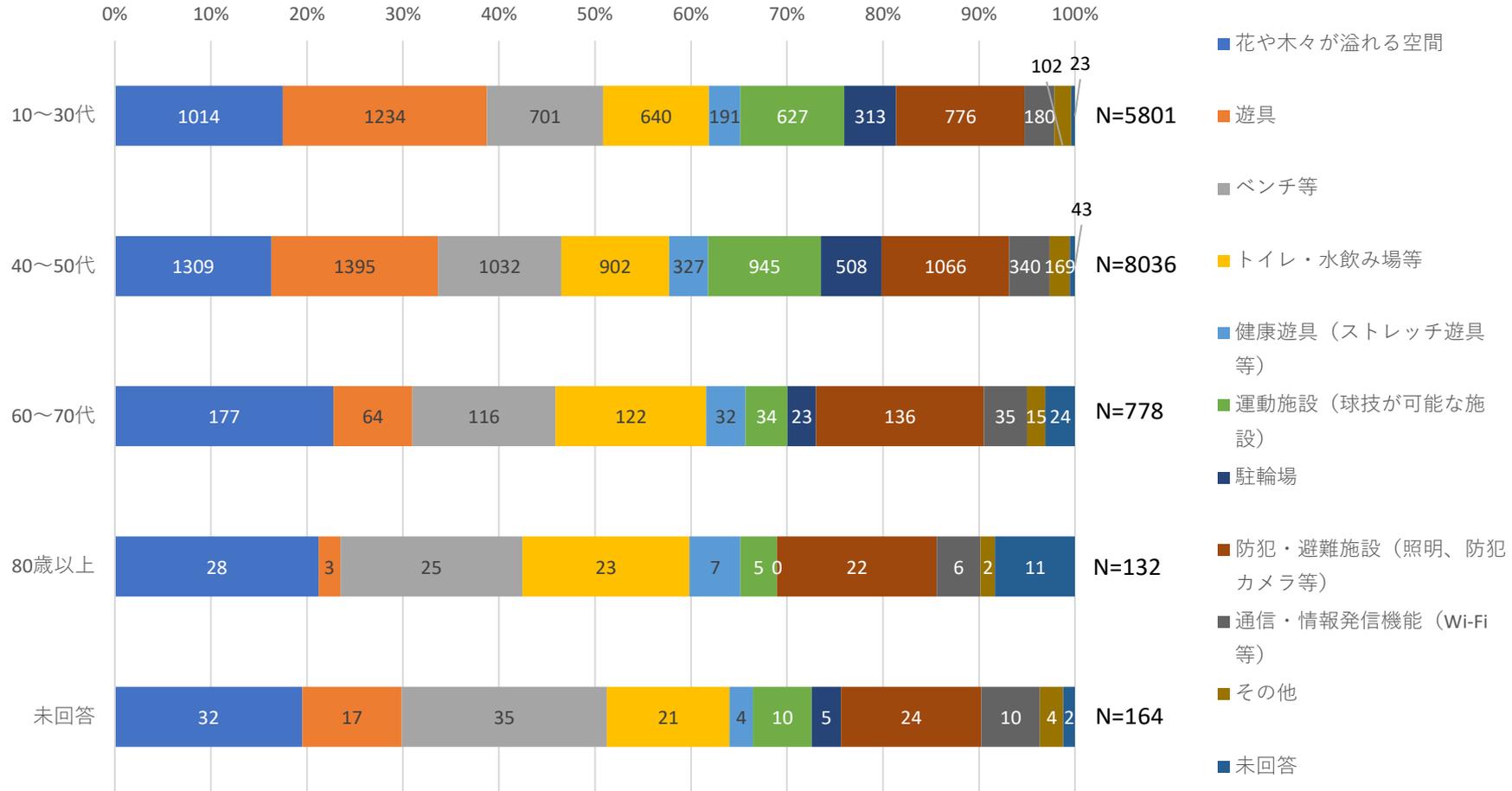
※千代田区都市マスタープランで位置づけられている7つの地域区分



・利用頻度に大きな地域での優位差は見られないが、大手町・丸の内・有楽町・永田町地域は比較的利用頻度が低い

8. 各種調査結果クロス集計

⑤おとな 身近な公園に求めるもの×年代



総回答数N=14911

・みどり、遊具、防犯機能の必要性が比較的高い

8. 各種調査結果クロス集計

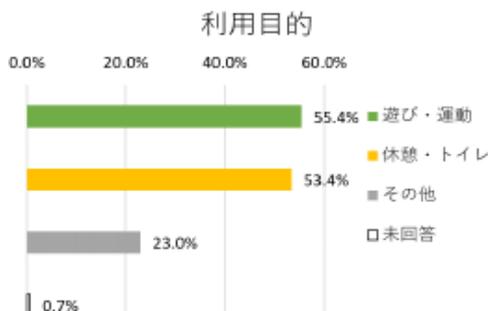
クロス集計結果の分析「おとな」 ※16歳以上を「おとな」としてカウントします

- ・ 10代～50代は「子供と遊ぶため」が明確に大きな割合を占める
- ・ これは全ての地域で傾向がみられる
- ・ 千鳥ヶ淵公園・北の丸公園は利用目的が多様である
⇒ 2公園以外は利用目的が単調ともいえる
- ・ 利用頻度が高い人は「子供と遊ぶため」に利用している傾向が強い
- ・ 緊急事態宣言下で利用した人は目的が分散している
- ・ 利用頻度に地域での大きな優位差は見られないが、
大手町・丸の内・有楽町・永田町地域は比較的使用頻度が低い
- ・ みどり、遊具、防犯機能の必要性が比較的高い
- ・ 整備に必要な機能は地域・公園・利用頻度によって差はあまり見られない
- ・ 遊具や運動などのアクティビティがやや比率が高い
- ・ 緊急事態宣言下で利用した人は必要な機能にばらつきがある

8. 調査手法について

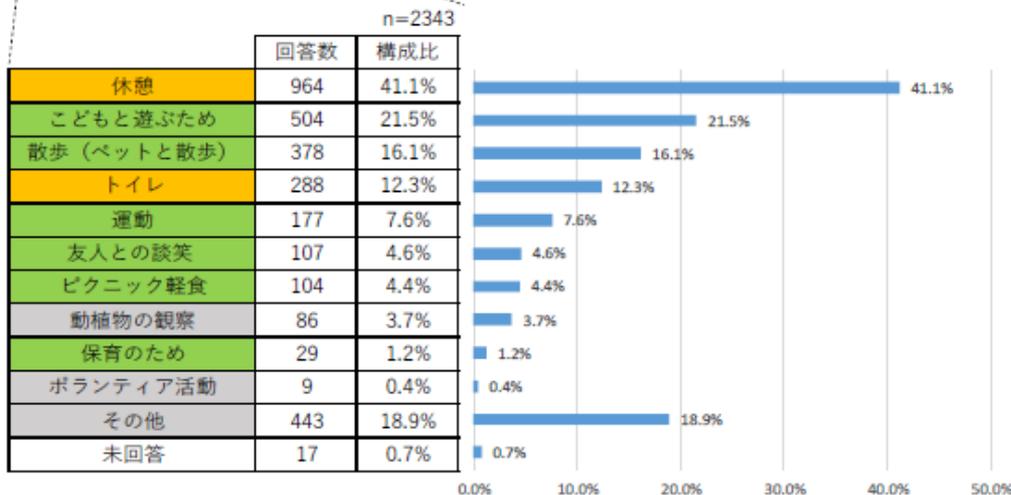
ヒアリング調査 単純集計結果

問3 利用目的 (複数回答あり)



利用目的を下記の分類としています。

- ～ 遊び・運動 ～
 - こどもと遊ぶため
 - 保育のため
 - 友人と談笑
 - ピクニック軽食
 - 散歩 (ペットと散歩)
 - 運動
- ～ 休憩・トイレ ～
 - 休憩
 - トイレ
- ～ その他 ～
 - 動植物の観察
 - ボランティア活動
 - その他



ヒアリング調査 クロス集計手法 (次のページ)

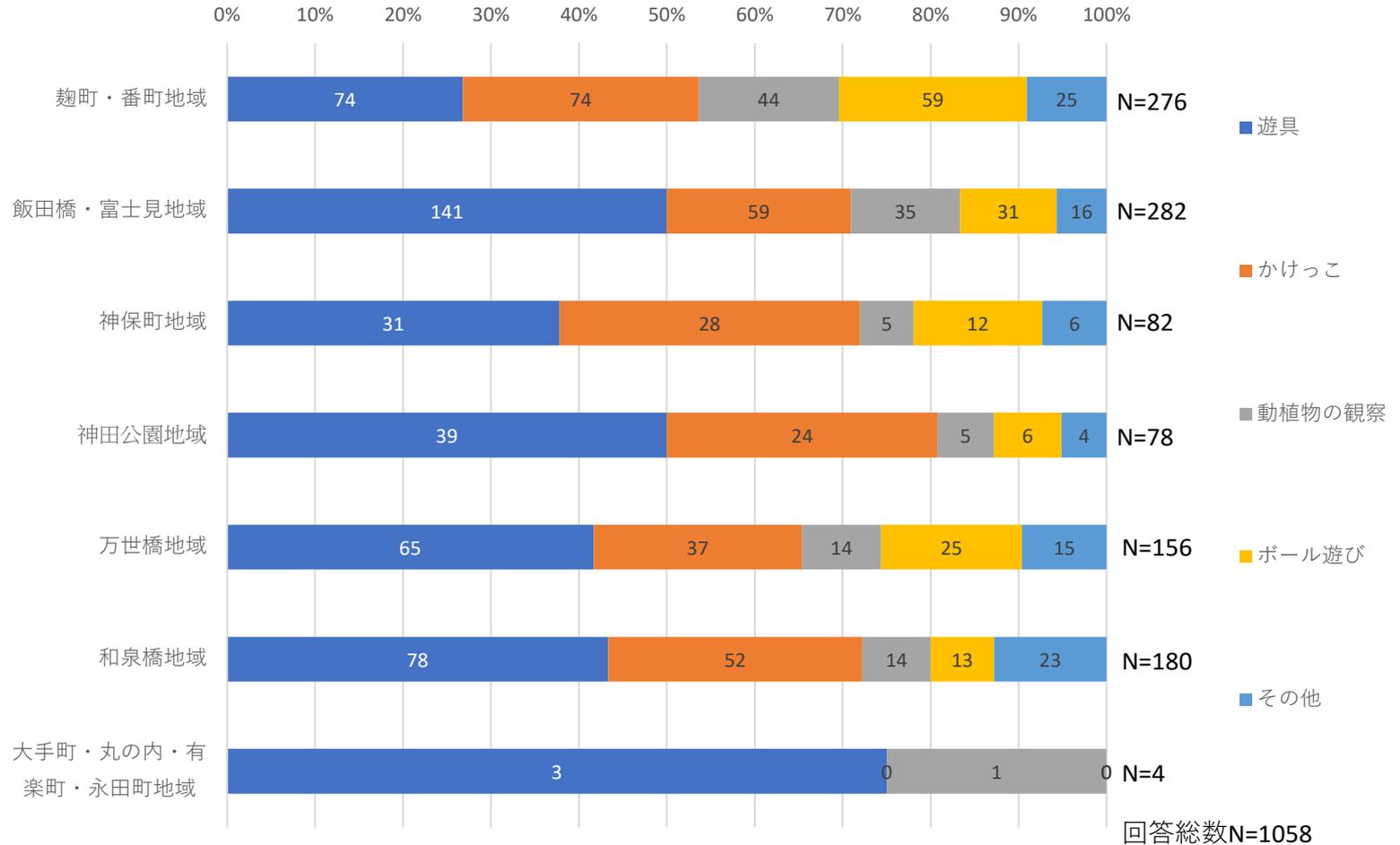
【あそび】

どんな遊びをしているか × 地域

8. 各種調査結果クロス集計

どんな遊びをしているか × 地域※（公園所在地）

※千代田区都市マスタープランで位置づけられている7つの地域区分



- ・ 全体的に遊具やかけっこでの利用が高い
- ・ 特に飯田橋・富士見地域、神田公園地域は遊具利用が高い

8. 各種調査結果クロス集計

クロス集計結果の分析「あそび」

※ヒアリング調査のクロス集計

- ・ 全体的に遊具やかけっこでの利用が高い
- ・ 動植物の観察、ボール遊びは麴町・番町地域、飯田橋・富士見地域で傾向が高い
- ・ 遊具は飯田橋・富士見地域で傾向が高い

- ・ 遊びや学びの希望について地域での差は見られない
- ・ 東郷公園、西神田公園、神田児童公園、龍閑児童公園でのボール遊びの希望が高い
- ・ 東郷公園、西神田公園、神田児童公園、和泉公園での水や自然の遊び、動植物との触れ合いの希望が高い

公園の課題 まとめ

・小規模公園が多い

現況分析：面積の小さい公園がほとんどである。 P14

・利用されていない公園がある

現況分析：2日で、10人未満など利用が少ない公園多数あり P17

・画一的な整備・遊具が乏しい

現況分析：遊具・ベンチ・植栽と画一的な整備となっている。バリエーションがすくない P15
調査分析：ボール遊び、遊具、水遊び、動植物の観察の遊びのニーズが高い P21.22

・ニーズを満たせていない

現況分析：遊具の種類が少ない、ボール遊びができない P15
調査分析：低学年＞高学年＞中学生の順で利用頻度が高い P26
小学生は遊具、運動施設の整備希望が高い P28
中学生はみどり、遊具、ベンチ、トイレ・水飲み、運動施設の希望が満遍なく高い P28
大人は、利用頻度が高い人は「子供と遊ぶため」に利用している傾向が強い P31
公園遊びは、遊具とかけっこの利用が多い P37

9. 千代田区公園・児童遊園等整備方針の改定に向けて

課題

小規模公園が多い

画一的・遊具が乏しい

利用されていない公園がある

利用者ニーズを満たしていない



改定の視点・コンセプト

視点1：日中と朝夕など時間に応じて空間をシェアする

→昼間人口比率が高いため、場所や時間に応じて利用者属性が変化することへの対応

視点2：公園・児童遊園等でできることを増やす

→利用ニーズに合わせた「やりたいこと」に応じたできることを増やしていく

視点3：1つの公園で視点2の全てを達成しようとせず、区内の公園・児童遊園等全体で機能を分担する

→2500m²以下の公園・児童遊園等が大半を占めているため機能を絞って整備する
→地域内でのバランスに配慮する

視点4：整備に関して具体的な機能、具体的な場所を想定する

→※第3回検討会から具体的に整理します

現行整備方針

(1) 魅力の再構築

- ・ 地域の現状にあった特色ある整備
- ・ 地域の子育て・コミュニティの核

(2) 基本的機能の強化

- ・ 防犯性
- ・ 災害対策機能
- ・ 環境配慮

(3) 子育て支援機能の強化

- ・ こどもや保護者の意見を取り入れた公園づくり
- ・ プレイリーダーの配置・育成
- ・ バリアフリーの推進

(4) 地域住民等との協働による維持管理

- ・ 利用者との協働
- ・ 事業者等との協働

9. 千代田区公園・児童遊園等整備方針の改定に向けて

整備方針改定（案）

(1) 地域特性に応じた魅力の再構築

- ・ 地域特性やニーズにあった特色ある整備
- ・ 時間に応じた空間のシェア（大人と子ども）
- ・ 公園でできることを増やし、使い方の可能性を広げる
- ・ 地域の子育て・コミュニティの核

(2) 基本的機能の強化・拡張

- ・ 防犯性
- ・ 災害対策機能
- ・ 環境配慮
- ・ テーマ型機能の拡張
- ・ 快適性の向上
- ・ 自然との触れ合い

(3) 子育て支援機能の強化

- ・ こどもや保護者の意見を取り入れた公園づくり
- ・ 遊びのバリエーションを増やす（水や緑、動植物含む）
- ・ プレイリーダーの配置・育成
- ・ バリアフリーの推進

(4) 公園等を介したまちづくりの推進

- ・ テーマ型利用を通じたまちづくりとの連携
- ・ 利用者との協働
- ・ 事業者等との協働
- ・ 地域住民等との協働による維持管理